

学校教育目標	○希望 ○創造 ○潤い	【目指す学校像】	○生徒が生き生きとして、自尊感情を高め、心を開ける学校○生徒・保護者・地域の願いに応え、ともに歩む学校○生徒・保護者・地域・教職員が安心して、信頼し、躍進できる学校
		【目指す児童・生徒像】	○自ら学び、自ら考える生徒 ○他を思いやり、支え合う生徒 ○責任をもち、やりぬく生徒
		【目指す教師像】	○生徒を第一に考え、生徒の良さを伸ばす教師○自己の資質向上と健康管理に努める教師○和、礼、法を重んじ、信頼される教師

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	確かな学力の定着を図るために、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた組織的な授業改善を進める。	問題解決型福島中方式4ステップ授業から深まりのある指導を実践する。	毎時間の授業で、「つかむ・考える・広げる・深める」授業を定着する。	4 深まりにつながる4ステップ授業を行った 3 「深める」ための指導の工夫を行った 2 「広げる」ための指導の工夫を行った 1 個と集団を意識した授業を行った	3	4 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が90%以上 3 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が70%以上 2 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%以上 1 授業が分かりやすく、深まりを感じる生徒が50%未満	3	*考える時間、振り返りの時間の確保で効果を感じる。 *深めるための工夫が必要である。	3	3	4ステップ授業の徹底と主体的な学びにつながる振り返りの工夫を行う。
		考えを深めるための読解力と表現力を身に付けさせる。	国語科を中心に、読む・書く時間を確保するとともに、発表活動の場を増やす。	4 深く読み、表現する授業を毎時間展開した 3 深く読み、表現する授業を7割以上行った 2 授業では自分の考えを書く 1 授業では読むこと書くことを大切にす	3	4 考え発表する体験が多いと感じた生徒が80%以上 3 考え発表する体験が多いと感じた生徒が60%以上 2 考え発表する体験が多いと感じた生徒が40%以上 1 考え発表する体験が多いと感じた生徒が40%未満	3	*ペアやグループでの発表活動は多い。 *全体での発表は足りない。	3	3	全教科で表現の機会を増やす。ただし、発表者が固定されないようにする。 *書くこと話すことをさらに増やしてほしい。 *代表として話すことで意欲が高まる。
		主体的な学習習慣を基に、主体的に学びに向かう態度を養う。	授業のねらいと振り返りを基に、意欲をもって授業や家庭学習を主体的に取り組む。	4 毎時間の振り返りを次時に生かす指導を行った 3 毎時間のねらいと既習事項を関連付けた振り返りを行った 2 毎時間ねらいを示し、振り返りを行った 1 授業のねらいと振り返りを時々行った	3	4 主体的な学習習慣が定着した生徒が90%以上 3 主体的な学習習慣が定着した生徒が70%以上 2 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%以上 1 主体的な学習習慣が定着した生徒が50%未満	3	*授業のねらいを明らかにし、振り返りを行うことで主体的になる生徒が見られる。 *まだ主体性が見えにくい生徒が目立つ。	3	3	3
豊かな心	自己有用感を高めることで自尊感情を育み、お互いを大切に尊重できる人間関係を構築する。	考え、議論する道徳授業を実践し、よりよく生きる心を育てる。	①全教員が道徳授業を行う。 ②全教科で内容項目に関連付けて指導する。	4 生徒が考え、気付きのある発問を工夫した 3 教材解釈と教材の工夫を十分に行った 2 計画通りに22の内容項目を全て扱った 1 自分で教材理解をして年間35時間行った	3	4 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が80%以上 3 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が60%以上 2 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が40%以上 1 自分を深める内容項目が2つ以上ある生徒が40%未満	3	*発問の工夫で様々な考えが出てきた。 *自分の言葉で表現できるようになった。	3	3	生徒と一緒に考える道徳授業を、さらに展開する。 *校内研究授業を行う。
		一人一人を尊重し、努力を認めて褒めることで自尊感情を育む。	傾聴、共感、認める、助言、実行、賞賛する生徒育成サイクルによる指導を実践する。	4 生徒育成サイクル指導の実践が定着した 3 傾聴、共感、認めるから助言につなげた 2 傾聴、共感をし、認める努力をした 1 傾聴せずに、すぐ指導・説諭をする	3	4 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が90%以上 3 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が80%以上 2 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%以上 1 教員は良さを認め伸ばしてくれると感じる生徒が50%未満	3	*傾聴、共感、認めることで生徒の本音を開ける。 *やり取り帳に書く一言で生徒への共感、認めるにつながっている。	3	3	傾聴・共感から認めることの大切さを徹底する。 最後は褒める。
		気持ちよい挨拶や返事によりお互いが快適に過ごせる人間関係を築く。	自らすすんで挨拶や返事をする習慣を付けさせる。	4 学校内外では教員自ら挨拶や声かけを行った 3 学校生活での挨拶・返事の指導を徹底した 2 授業中の挨拶・返事の指導を徹底した 1 挨拶・返事の指導を時々行った	3	4 学校内外で、すすんで挨拶できる生徒が80% 3 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が80%以上 2 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%以上 1 学校内で、挨拶・返事ができる生徒が50%未満	3	*生徒からの挨拶が増えている。 *学校外ではまだできない生徒が目立つ。	3	3	3
健やかな体	自らの生活を健康的で健全にするために、体力向上を図り、規則正しい生活を送る。	1年間健康に過ごすための基礎体力・持久力の向上を図る。	一人一人に体力向上における目標を設定させ、主体的かつ計画的に運動習慣を身に付ける。	4 一つ一つの運動の効果や取組方法を徹底指導した 3 体力向上のために個に応じた方法を指導した 2 体力向上の意義と取組方法を指導した 1 体力向上のための指導した	2	4 運動を主体的に取り組む生徒が90%以上 3 運動を主体的に取り組む生徒が70%以上 2 運動を主体的に取り組む生徒が50%以上 1 運動を主体的に取り組む生徒が50%未満	2	*部活動では運動量を増やしたり内容を工夫しているが、主体的に取り組む生徒は半程度。	2	2	時間や場所に応じて、個人でできる簡単な運動を紹介する。
		食事や睡眠を大事にし、自らの健康増進に努める生徒を育てる。	給食を残さず食べる指導を行い、保護者には早寝・早起き・朝ご飯の協力を求める。	4 学級で食の大切さと残さず食べる指導を徹底した 3 学級で食の大切さと残さず食べる指導をした 2 学級で残さず食べる指導に取り組んだ 1 学級で食育指導を定期的に行った	3	4 全校で1か月の平均残菜率が5%以下 3 全校で1か月の平均残菜率が8%以下 2 全校で1か月の平均残菜率が10%以下 1 全校で1か月の平均残菜率が10%前後	3	*2学期後半の残菜率は6%前後で、食事指導の成果が表れている。	3	3	給食を残さない意識が高まっている。継続して指導する。
		SNSの活用について考え、規則正しい生活を送らせる。	SNS学校ルールの定着及び家庭ルールの作成・定着を徹底する。	4 SNSルールの徹底を家庭に指導した 3 SNSルールを学級で指導・徹底した 2 SNS家庭ルールの作成を学級で指導した 1 SNS学校ルールを学級で指導した	2	4 SNSルールが定着した生徒が80%以上 3 SNSルールが定着した生徒が50%以上 2 SNSルールを意識している生徒が50%以上 1 SNSルールを意識している生徒が50%未満	2	*ルールを作成している過程が約60%である。 *ルールを意識している生徒は多いが定着はしていない。	2	2	2
輝く未来	家庭・地域との連携を深めて、将来の確かな夢をもち、夢を語るような人格形成を図る。	家庭・地域との信頼関係を深めるために情報発信を行い、意見を求める。	学校・学年だよりの発行とホームページの更新を毎月行い、読者意見に丁寧に対応する。	4 毎月発行・更新し、地域からの意見に対応した 3 学校・学年だよりとHP更新は毎月1回以上行った 2 学校・学年だよりは毎月1回以上発行した 1 学校だよりは毎月1回以上発行した	3	4 学校の教育活動に安心している保護者が90%以上 3 学校の教育活動に安心している保護者が80%以上 2 学校の教育活動に安心している保護者が60%以上 1 学校の教育活動に安心している保護者が60%未満	3	*毎月発行しているが、内容精選の意識を強める。 *HP更新の工夫が必要。	3	3	保護者・地域にわかりやすい情報提供に努める。
		キャリア教育によって夢をもち、実現に向け努力する生徒を育成する。	総合的な学習の時間及び進路学習を通して、将来について具体的に考えさせる。	4 将来の夢の実現に向けた計画づくりを指導した 3 将来の自分を考えさせる指導を行った 2 自分の良さや適正を知る指導を行った 1 働く意義や職業について考えさせる	3	4 夢に向けてキャリアプランを作った生徒が50%以上 3 将来の夢を具体的に考えた生徒が70%以上 2 将来の夢を見付けるために進路学習を行った 1 将来の夢を見付けるために進学先を考えた	3	*職場体験、職業調べは考える機会として有効だった。	3	3	体験に勝るものはないので、さらにキャリア教育を深める。
		9年間を見通した計画的な指導を行い、地域との関わりを深めている。	福島中グループの小中連携教育における3つのスタンダードを定着する。	4 スタンダードを周知・徹底し、小学校との実践を深めた 3 スタンダードを徹底するために家庭協力を求めた 2 スタンダード定着に向けクラスで指導・徹底した 1 スタンダードの内容を生徒に理解させた	2	4 スタンダードを実践し定着した 3 スタンダードを生徒・家庭が実践した 2 スタンダードを家庭が理解できた 1 スタンダードを生徒が理解できた	2	*スタンダード理解に留まり家庭への周知・徹底が不十分だった。	2	2	2